

# 高齢者虐待防止センターの取り組み

## 特別養護老人ホーム フィオーレ南海

当高齢者虐待防止センターは、在宅介護支援センターに併設機能として、2002（平14）年10月に朝日新聞厚生文化事業団の助成を受けて開設しています。

活動内容は、大きく分けて4種類あります。

### ① 相談事業

電話、訪問、来所などの方法により受け付けています。2002（平14）年10月の開設当初は毎月第2日曜日を相談日に設定しましたが、2004（平16）年4月より開設は毎日とし、止むを得ない場合や緊急時には夜間も対応しています。

また、訪問相談を希望される場合や、こちらが必要だと判断した場合には、ご本人了解の上、該当する地域の在宅介護支援センタースタッフと同行させて頂くなどしています。

緊急の対応が必要ではなくても、日常の密な関わりが必要なケースが多いため、身近に関わってくれる機関の方がよいからですし、また、これらの活動を通して、地域の虐待防止ネットワークが構成されると思うからです。

また、相談日の待ち時間を利用して勉強会を開催していましたが、常設化した際に事例検討会を開催する事とし、毎月持ち寄りの事例で行なっています。

### ② 啓発セミナーの開催

介護支援専門員など専門職を対象に、大阪高齢者虐待防止研究会の協力を得て、毎年7回シリーズで開催しています。3年目に当たる今年度からはカリキュラム案を作成し、虐待相談を受けるために必要な一定のレベルの知識や技術を得られるよう開催しました。特に、虐待ケースに関わるときに、虐待者や被虐待者はもちろんですが、援助者の方も非常に疲れますし傷つきます。虐待ケースに取り組むためにも、また深く傷つけないためにも、ある程度の知識や課題は知ってもらっておいたほうが良いのではないかと思います。

### ③ 調査研究

2002（平14）年度から、毎年、岸和田市から岬町までの訪問系サービス提供事業所を中心に、高齢者虐待に対する専門職の意識調査と実態調査を実施しています。



### 連絡先



**フィオーレ南海**

☎ 0724-65-3388 (代)  
大阪府泉南郡田尻町吉見 326-1



## 相談件数

- 2002 (平14) 年10月1日 (開設) ~2004 (平16) 年12月23日
- 複数回相談があったケースについては、1と数えています。

初期相談の受付方法	合計	電話	来所	訪問	その他
	41	34	5	1	1

相談者	本人	家族	専門職	行政
	4	8	19	5

虐待者	息子	娘	配偶者	その他家族	専門職
	18	7	5	7	4

対応内容	カウンセリング的	助言・情報提供	その他
	30	19	事例検討会への事例提供呼びかけ 緊急一時保護など 来所相談に切り替え 同行訪問 他機関連絡調整 弁護士会紹介 労働組合紹介

専門職がどのように虐待問題を捉えているか、実際関わっている方に対してはどのような関わり方をしているか、また、それらがどのように変化していくのかを聞いています。

この調査や、日常の相談業務から、高齢者虐待に対処するための大きな課題が2つ見えてきました。ひとつは、専門職が虐待ケースに関わるのは非常に困難だと感じていること、それは経済的なことや身分保障的なことなど、さまざま要因がありますが、成人の緊急一時保護施設がないことです。もうひとつは、支援の方法について、入り口（虐待の発見）から介入、アフターケアまでの一貫した支援の流れがないことではないかと考えています。

虐待ケースの支援の方法に焦点をあて、高齢者虐待に対する有効な支援方法や必要な社会資源について検討し、それらを実際に創造しうるかを検討しています。具体的な解決策の案として、4つ目の機能として、

#### ④ 支援センターのネットワークを活用したシェルターネットワークの構築を試みています。

さらに、高齢者虐待防止センターの活動だけで高齢者虐待を予防するというよりも、その地域の住民すべてが安心して生活するためにはどうしたらよいか、ということに焦点をあてる必要があるのではないかと考えています。被虐待者の救出だけを目的にするだけでは虐待問題は解決しません。入り口から介入、出口まで、地域で一貫した支援のシステムがあって初めて予防機能が果たせるのではないのでしょうか。入り口のところだけで予防するというのは難しいですし、対処療法的な対応だけでは虐待はなくなりません。身の安全を確保できたとしても、介入後の出口の部分で、心の傷などへの具体的対処がなければ、根本的な解決にはならないと考えます。虐待も一つの生活障害と捉え、総合的に安心・安全・快適な地域づくりを目指すべきではないのでしょうか。